

# サルの被害を防ぐために

ニホンザルは学習能力が非常に高い動物で、一度集落の食べ物に依存すると、繰り返し出没し、被害が発生してしまいます。サルの生態と対策をよく知り、地域全体で対策をすることが重要です。



## ニホンザルの生態

**食性** 植物中心の雑食性で、植物の芽や葉、種子や果実のほか、昆虫なども食べる。

**行動** ヒトと同程度の視力を持ち、日の出から日没まで活動し、夜間は行動しない。メスと子どもを中心とした10頭前後から100頭を超える群れで行動する。

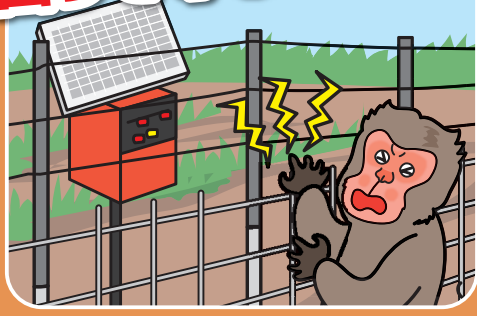
**繁殖** 繁殖は年1回で、秋から冬にかけて交尾を行い、春から夏にかけて出産する。寿命は20歳前後。

**特徴** 記憶力(場所・出来事・人など)や学習能力が高く、試行錯誤しながら学習する。このため、人に馴れたり、集落や農地をエサ場と認識した場合には、被害が大きくなりやすい。

果実や野菜は  
放置せず早めに  
収穫!



農作物は柵で  
囲って守る!



サルを見かけたら  
追い払う!



## もしもサルが威嚇してきたら

目を合わせない!

走らない!

騒がない!

ゆっくり後ずさり!

